

令和 7 年 3 月 2 7 日  
のと海洋ふれあいセンター  
担当者：東出 幸真  
直通：0768-74-1919

## のと海洋ふれあいセンター研究報告 第 30 号の発行について

### 1 趣旨

のと海洋ふれあいセンターでは、石川県の海岸と浅海域における自然環境の保護・管理を推進するため、その環境と生息生育する動植物に関する基礎的な調査研究を行っています。その研究成果は「のと海洋ふれあいセンター研究報告」として取りまとめ、年 1 回発行しています。

### 2 執筆・編集

調査研究で得られた資料の取りまとめ、原稿執筆は同センター職員をはじめ、同センターの調査研究に協力して下さる研究者が行い、編集は同センターが行っています。

### 3 規格 A4 判、118 ページ（白黒 108 ページ、カラー 10 ページ）

### 4 印刷部数 300 部

### 5 主な送付先

国・各都道府県の関係機関と図書館、自然史系博物館と水族館、関連大学の図書館・研究施設などへ送付します。また、同センターのホームページでも PDF ファイルを公開します。

(URL) [https://notomarine.jp/center/doc/No30\\_2025.pdf](https://notomarine.jp/center/doc/No30_2025.pdf)

### 6 内容

- (1) アカホシコブシの京都府と島根県からの初記録及び石川県からの追加記録
- (2) 石川県からムラサキウニの共生性甲殻類 2 種の初記録
- (3) 能登半島と佐渡島にて確認されたゲンバイヒルガオと能登半島でのウチワサボテン属の一種の記録
- (4) 能登半島沖におけるコモンサカタザメから得られた寄生虫 2 種の記録
- (5) 日本海からウオノエ科等脚類 3 種の記録
- (6) イシダイ幼魚の横帯模様の変異パターン
- (7) 石川県能登町からのニホンオカトビムシの記録
- (8) 能登町沿岸のタコクラゲの成長パターンとその共生種について
- (9) ヤドカリ寄生性甲殻類（等脚目：エビヤドリムシ科）の石川県と広島県からの初記録
- (10) 輪島市曾々木沖で採捕されたトゲツノヤドカリの貝殻利用
- (11) 新潟県で初めて採集されたサツキハゼの記録
- (12) 九十九湾におけるアラサキガンガゼの定着状況
- (13) 津波によるかく乱を受けた久里川尻川の河口周辺における底生動物
- (14) 令和 6 年能登半島地震後の岩礁海岸における底生無脊椎動物および海藻草類のモニタリング調査
- (15) のと海洋ふれあいセンター年次報告